



オンラインセミナー みんなで創ろう！ SDGs！

～環境・経済・社会的課題の同時解決～

主催：千葉県

●参加型オンラインセミナー「みんなで創ろう！ SDGs！」の概要

世の中が大きく変化する中、私たちが、健康と心の豊かさを実感できる暮らしを営む上で、欠かすことのできない豊かな環境の恵みを維持するためには、人も企業も、質の高い生活（事業活動）を求めながらも、環境に配慮することが大切です。

そのために、日常の中でこういった取組の実践ができるか、また、どのようなネットワークを構築して、他者と連携・協働するべきか。

東京都市大学 佐藤真久教授 を講師としてお迎えし、様々な問題を統合（Integrate）し、環境・経済・社会的課題を同時解決する、SDGs の実践アプローチ について考える オンラインセミナー を開催しました。

企画名：参加型オンラインセミナー「みんなで創ろう！ SDGs！～環境・経済・社会的課題の同時解決～」

日時：11月1日（日）12:15～14:00

プログラム

第1部：佐藤真久氏講演

（東京都市大学大学院環境情報学研究科教授）

「SDGs 時代のパートナーシップ

～SDGs の本質をとらえ、これからの千葉を構想する～」

第2部：佐藤氏とゲストスピーカーとのリレートーク



セミナー動画は 2021 年 3 月まで YouTube に掲載中！

●第1部 佐藤真久氏（東京都市大学大学院環境情報学研究科教授）講演

「SDGs 時代のパートナーシップ～SDGs の本質をとらえ、これからの千葉を構想する～」



SDGs や ESD（持続可能な開発のための教育）、SDGs を実践するための協働・組織論の第一人者である佐藤先生が、SDGs の本質について、

- ① SDGs の社会背景、世界観、特徴
- ② SDGs の取組（ビジネス編、教育・人づくり編、福祉、地域づくり編）
- ③ 成熟したシェア社会における力を持ち寄る協働へ

の順に分かりやすく解説しました。

参加者には疑問や意見をチャットに書き込んでいただき、佐藤先生がこれに答えることで、千葉県の実状に即した環境・経済・社会的課題の同時解決のあり方について、考えました。

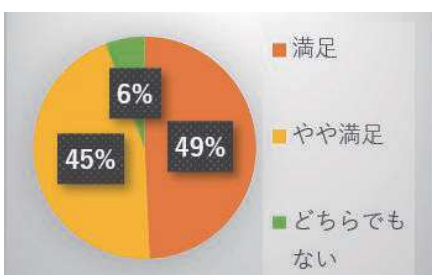
●チャット紹介

- ・地域の関わりもなく、パートナーシップで課題解決と言われてもピンとこない。そもそも家庭や個人で取り組みますか。
- ・SDGs で掲げられている目標って一見「きれいごと」のイメージで、取り組むと「偽善者」と言われそう。
- ・SDGs に取り組むどころではないというのが、中小企業の本音ではないでしょうか。
- ・同じような想いを共有したり、議論できるパートナーを見つけたいのですが、どのように進めたら良いでしょうか。
- ・国は SDGs に関し、どのような取組を行っているのでしょうか。自治体レベルよりも強力なリーダーシップを！
- ・アメリカや中国などに比べて、我が国の取組の立ち位置は、世界の中でどの辺りにあるのでしょうか。

●参加者アンケート

本セミナーはどの程度満足いただけましたか。

本セミナーのやり方で一番良かった点はどこですか。



チャット・アンケート結果詳細はコチラ



千葉県環境政策課

●第2部 佐藤氏とゲストスピーカーとのリレートーク

SDGsの目標のひとつである気候変動に関する専門家の亀山氏、県内でESG関連融資に取り組む千葉銀行の渡邊氏、生活者の立場からSDGsに関わる様々な活動を展開する生活協同組合の首藤氏が、それぞれの考えや取組について、佐藤先生と順に語り合いました。また、チャットを通じて参加者と意見交換をした後、佐藤先生が論点を整理し、総括的なまとめを行いました。

亀山康子氏（国立環境研究所社会環境システム研究センターセンター長） 「気候変動への取組とSDGs」

地球の平均気温は温暖化以前と比べ1度上昇。放っておいたら更に上昇が続く現状を踏まえ、気候変動への対応として、緩和策（「温暖化対策」、今後の更なる気候変動の予防を目的として、温室効果ガス排出量を減らすために講じる手段）と適応策（「防災」、既に生じてしまった気候変動に対して、被害を最小限に食い止めるために講じる手段）を掲げ、それぞれにSDGsの視点が重要であるとし、適応策には地域ごとに独自の対応が必要であると解説しました。

渡邊明宏氏（千葉銀行経営企画部サステナビリティ担当部長） 「千葉銀行によるSDGsの取組」

金融界ではSDGsやESGといった、環境・社会・ガバナンスを重視する企業に積極的に投資して、持続可能な社会を形成する動きがある。ちばぎんグループSDGs宣言を表明した千葉銀行の取組として、人口減少地域におけるレガシー（遺産）を活用した地方創生の取組（耕作放棄地、空き公共施設、古民家等の不稼働資産の有効活用）や、環境保全への取組（太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー関連融資）を紹介し、千葉県の地域課題への解決の取組は、有力な融資ビジネスのツールであると解説しました。

●チャット紹介

- ・融資先の中で環境に配慮した事業の事例を教えてください。
- ・SDGsへの融資の大きさは理解しましたが、融資先を決める際、SDGsの取組・貢献度をどのような指標で評価していますか。

首藤英里子氏（生活協同組合コープみらい千葉県本部長） 「コープみらいの取組」

生産する側のつくる責任、消費者側のつかう責任の双方の立場から責任ある事業と活動を続けており、生産・消費・流通のフードチェーンの中で、暮らしに不可欠な商品の提供を通じ、食の安全性確保、食糧自給率向上、食育推進、CO₂排出量の提言等を行い、また、多様な考えを持つ人や行政、諸団体の協働によるパートナーシップの力を大切に、安心して暮らせる豊かな地域作りを目指しており、日々の暮らしから世界を変えて、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指していると解説しました。

●チャット紹介

- ・エンカル消費を広めるためには、どのようなことが必要ですか。
- ・様々な生協の名前を聞きますが、協同組合間での連携はありますか。

●チャット紹介

- ・気温上昇2度以内に抑えられるか？次の10年がクリティカルと聞き、何か行動を起こさねば、と焦りを感じました。日本ではこれらの認知度が低く、世界から化石賞を受賞したり、と危機感を感じています。親子で気候変動について対話するなど日々意識していますが、何かアドバイスはありますか。
- ・脱炭素社会への挑戦は重要な経営課題で、企業価値向上にとっては必須条件とされていますが、設備投資に係る費用や技術開発などが課題です。
- ・千葉県は農業生産県ですが、地球温暖化によると思われる農作物の影響（乳白米（白未熟粒）、みかんの浮皮）を多く目にします。農作物の「適応策」について、どのようなものがあるのでしょうか。
- ・太陽光発電を取り入れており、電気自動車や蓄電池に興味がありますが、なかなか金額的に手が出ず、足踏みしている状況です。補助金や税金緩和など対策してくださいとありがたいのですが…。



オンラインセミナー
参加者募集！

みんなで創ろう！SDGs！

～環境・経済・社会的課題の同時解決～

世の中が大きく変化中、私たちが、健康と心の豊かさを実感できる暮らしを営む上で、欠かすことのできない豊かな環境の恵みを維持するためには、人も企業も、質の高い生活（事業活動）を求めながらも、環境に配慮することが大切です。
そのために、日常の中でどういった取組の実践ができるか、また、どのようなネットワークを構築して、他者と連携・協働するべきか。
東京都市大学 佐藤真久教授を講師としてお迎えし、様々な問題を統合（Integrate）し、環境・経済・社会的課題を同時解決する、SDGsの実践アプローチについて考えます。

2020年 11月1日（日） 12:15～14:00
エコメッセ 2020 inちば

第1部 SDGs時代のパートナーシップ
～SDGsの本質をとらえ、これからの千葉を構想する～
講師：佐藤真久氏（東京都市大学大学院環境情報学研究所教授）

SDGsやESD（持続可能な開発のための教育）、SDGsを実践するための協働・組織論の第一人者である佐藤先生が、SDGsの本質と千葉県の現状に即した環境・経済・社会的課題の同時解決のあり方について語ります。また、参加者によるチャットの書込の中から、疑問や意見を選んで、これに答えます。

第2部 佐藤氏とゲストスピーカーとのリレートーク

ゲスト
亀山 康子氏（国立環境研究所社会環境システム研究センターセンター長）
渡邊 明宏氏（千葉銀行経営企画部サステナビリティ担当部長）
首藤 英里子氏（生活協同組合コープみらい千葉県本部長）

SDGsの目標のひとつである気候変動に関する専門家の亀山氏、県内でESG関連融資に取り組む千葉銀行の渡邊氏、生活者の立場からSDGsに関わる様々な活動を展開する生活協同組合の首藤氏が、それぞれの考えや取組について、佐藤先生と順に語り合います。また、チャットを通じて参加者と意見交換をした後、佐藤先生が論点を整理し、総括的なまとめを行います。

次回予告 2021年2月頃、ブレイクアウトセッションを予定しています。

定員 500名 参加の申し込みはホームページから
参加料無料 事前申込制
千葉県環境政策課

